



赤磐

平成23年

6

月議会

市議会だより

No.25



もくじ

6月議会のあらまし	2P
委員会のうごき	5P
12人の議員が一般質問	8P
4月臨時会のあらまし	15P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。



<http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html>

(※赤磐市のホームページからもアクセスできます。)



6月議会のあらまし

議案審議

6月定例会を、6月9日から6月29日まで、21日間の会期で開催した。報告案件5件を承認、議案5件および議員発議の意見書1件、議案1件を可決した。また、請願2件を継続審査、1件を採択とし、人事案件1件を審議した。

22年度一般会計予算繰越明許費

問 防犯灯整備事業2200万円が繰越されているが、現状と今後のスケジュール並びに優先順位は。

答 防犯灯のLED化を進める。現在、各地域の調査データを基に台帳化・現地確認を行っている。8月入札、2月末工事完了を考えている。設置場所は通学路や主要交差点を優先に各地域の要望を踏まえて決定する。

問 最終処分場基本設計業務4800万円の詳細を。

答 赤磐市単独で石蓮寺に最終処分場を進めるための基本設計である。

問 石蓮寺地区や周辺地域の了解は得ているのか。

答 石蓮寺地区には、基本的な了解はいただいた。周辺地域はすべてが賛成という状況には至っていない。基本計画が出来た段階で再度、石蓮寺地区・周辺地域に細かい点を説明する。

問 惣図池および前池の改修工事の繰越理由を。

答 着手も遅く、また土

質が悪く土壌改良に手間取ったが4月末には完了した。今後は、早期発注・早期着手等の徹底を行い、地元に影響がないよう努めていく。

問 城山公園駐車場整備工事1060万円の完了予定が10月末になっているが、各種イベントのある観光シーズンに間に合うのか。

答 コスモスマツリが、10月の初めである。間に合うよう努めていきたい。

問 幼稚園遊戯室エアコン設置事業が12月末になっている。東日本大震災で材料不足が懸念されているがどのような状況か。

答 その影響を考慮して12月末にした。出来るだけ早く工事を完了させる。

問 図書資料整備事業（中央および地域図書館）が24年3月末、学校図書館蔵書整備事業が11月末の理由は。

答 中央図書館と地域図書館は、利用者の多様な要望に応えるために、新刊を中心に通年購入する理由で3月末にしている。学校図書館は、夏休み中に選定をして11月に購入予定である。

答 地域図書館にも配慮して配本していく。また、本の購入については、現在も行っているが、今後も可能な限り市内業者から購入する。

問 赤坂公民館、山陽郷土資料館、グラウンドゴルフ場のトイレの改修や増設は、市民に不自由をかける。いつの完成か。

答 最終は9月末である。東日本大震災の影響もあるが、早期完成を目指していく。

問 中央図書館に偏らず地域図書館にも配慮して欲しい。

また、図書は市内業者から購入して欲しいが。

23年度一般会計補正予算

問 総務費の136万8000円の報酬の追加は何か。

答 赤磐市民病院の調整業務と、旧備作高校跡地利用の調整業務を行う嘱託職員1人の9カ月分の報酬である。

問 今まで関わってきた人がいなければ事が進まないとの判断か。

答 県との交渉などを行ってらっていた。

これまでの経過を踏まえて事業所や、県との交渉業務を行って頂きたいと思っている。

問 障害者福祉施設委託料255万6000円の内容は何か。

答 統合移転した旧西山幼稚園について、次の使用公募を行った。

市の委託を受け障害者地域活動支援センターを運営しているNPO法人

太陽の家より応募があり決定した。

用途を幼稚園から地域活動支援センターに変更するにあたり、当地区が都市計画区域に該当し、開発変更、現地測量、図面作成等の作業や手続きが必要であり、補正計上した。

問 民生費委託料337万6000円の内訳は。

答 次の3事業である。

①統合移転した旧高月幼稚園について、次の使用を公募し、山陽国分寺福祉会が行う放課後児童クラブを次期使用者と決定した。当地区も都市計画区域のため、申請事務に必要な159万円を補正計上した。

②虐待防止事業103万5000円は、子どもへの暴力防止の参加型学習会、幼・小・中学校の

教職員、保護者を対象に、

相談者の実践と資質の向上を目指すためのものである。

③子育て情報誌を通じて会議の開催や、イベント、学習会等の経費75万1000円等の内容である。

問 衛生費396万9000円の内容と対象年齢は。

答 大腸がん検診委託料66万5000円、肝炎ウイルス検査委託料330万4000円を新規事業として行うものであり、

どちらも今年度から検診推進事業としたもので、大腸がん検診は40歳から60歳までの5歳刻み。肝炎ウイルス検査は40歳から75歳までの5歳刻みで、一度も検査を受けていない人を対象に無料で検査を行う。両検査とも70歳以上の人は自己負担がない。

問 鳥獣害防止協議会の委員は。

答 広く農業団体、関係団体においている。猟友会・自治連合会から

旧町単位で各4人、議会から3人、森林組合・農業委員から各1人、生産農家から2人、農協・東備農協・市担当者から各1人。計18人である。

また、助言者として県より専門的立場から3人を予定している。

問 セミナーは、早急に行い、意見が出された中

で即計画を立て予算をつけ、必死でやっていく考えはないか。また、協議会の代表だけでなく地域ぐるみで対応すべきだと思うがどうか。

23年度水道事業会計補正予算

問 給水タンク(2トン)はどのように使用するのか。

答 非常時の給水資材を備蓄し、災害に備えることを目的としている。

他にも水道施設の事故等による大規模な断水の

場合も有効に活用し、速やかな給水を行いたい。

タンクは、アルミ構造のトラック積載型で、保管は熊山支所。使用時は市の貨物車に積み活動する。

百条委員会への出頭拒否に対する告発を可決

今回赤磐市議会では、

「赤磐市元職員及び職員の背任及び虚偽公文書作成容疑調査特別委員会」への出頭を拒否した証人(現職市議)の告発を決議し、可決した。



次のとおり適任とした。

人権擁護委員

北牧 哲夫（桜が丘東6丁目）

任期

平成23年10月1日～
平成26年9月30日

請願

請願第1号 国の存亡を危うくする環太平洋連携協定（TPP）への拙速な参加に反対する請願

【継続審査】

【要旨】 TPPへの参加は農業へ甚大な影響を与えるのみならず食料安全保障の観点から国の存亡を危うくする可能性が高いため、拙速な参加に反対する。

請願第6号 教科書採択に関する請願書

【採択】

【要旨】 教育基本法、学校教育法等の改正により

学習指導要領の目標や内容を達成するため、最も適した教科書を選択するよう強く求める。

【反対討論】 ①参考資料にある育鵬社と自由社2社は

東京書籍、帝国書院、日本文教出版、清水書院、教育出版5社を批判しているが、2社は戦争美化、紛争の解決を軍事力でと主張しているので反対。

②この請願は40年前の教科書検定裁判から端を発しており、日本の侵略戦争記述を巡って争ってきた経過から、政治介入を規制している教育に対して、議会が監督するという事にはならないので反対。

請願第7号 赤磐市民病院存続に関する請願

【継続審査】

【要旨】 熊山地区利用者にとって近くで入院できる公営病院がなくなるのは問題。診療所にしないで市民病院として継続することを望む。

【反対討論】 継続審査に対して反対。市民の必死な思いをまず受け止めることが先決ではないか。時期を考えると今判断するべきだと思うので反対。

決議

教育基本法・学習指導要領の目標に適した教科書の採択を求める決議

【要旨】 今年度の中学校の教科書採択において、文部科学省の教科用図書検定調査審議会の提言を踏まえ、教育委員・学校関係者への教育基本法改正、学校教育法改正、学習指導要領改訂についての内容の周知徹底を図るとともに、教育基本法の目標および学習指導要領の目標や内容を達成するため、最も適した教科書を選択するよう強く求める。



総務文教 常任委員会

6月21日に総務文教常任委員会を行った。
議案3件について審査した。

条例改正

市職員の育児休業 等に関する条例

問 現在の非常勤職員で該当はないが、将来的に適用される職員の採用の可能性はどうか。
答 今回の改正は法制上

の整合をとるもので、条例の改正の対象になっていないのは一般職に属する非常勤職員だが、法制上明確な定義がなく、該当する職員が現在いない。

問 非常勤の人は育児休暇を取れなかったのが、取れるようにしたということか。
答 臨時職員は、この条

例の対象にならない。地方公務員の法整備ができれば、将来に向け条例を作る可能性はある。

問 被災された人が赤磐市へ住居を移されたときにこの条例が適用できるということか。今のところ該当になる人が住んで

税条例

23年度 一般会計 補正予算

問 財産管理費の本庁舎耐震診断委託料770万円の根拠は。
答 県が作成したソフトを引用して算出をした。

問 各支所の耐震についてはどう考えているのか。
答 来年の当初予算で計上するよう考えている。
問 企画費の嘱託員報酬の嘱託員は誰を雇っているのか。

答 市民病院再編事務の調整、旧備作高校跡地の調整業務に従事してもらうため元職員にお願いしている。

問 今現在の職員でできないのか。
答 今まで元職員がこの業務にあたっていて経過を熟知しているのでお願いした。

問 市民病院は大きな問題なので、早い段階で説明をするべきだったので。
答 病院の方向性については3月の一般質問の中で診療所の方向で検討をしていると答弁した。人件費の説明が遅くなり、お詫びする。

問 人事異動で違う業種に行っても業務を進めていくのが職務なのだから、職員はどのポストでもできるのではないか。
答 企画課で病院の担当が2人一緒に調査等していて早い時期に元職員と代わられるよう職員を育成する。

問 消防費のポリタンクの予備は十分あるのか。
答 また薬品等の整備は考えていないのか。

答 水タンクは隊員用として10缶が10缶あり、飲み水はペットボトルで

対応し、あとは現地で補充しながら対応する。薬品は災害派遣に行く隊員が持つていく救急箱が5箱あり、それ以上は通常の救急対応の備蓄でまかなっていく。

問 購入数は今後の派遣を想定して、この購入数量になったのか。
答 今回の派遣活動した際に不足したところを補充するために購入する。

問 教育費の嘱託員報酬158万1000円のカウンセラーの報酬の人数と内容は。また、謝礼の5万6000円の事業内容は。
答 訪問カウンセラーは適応指導教室に臨床心理士もしくは教育相談の専門家を配置し、そこからそれぞれの学校に訪問してカウンセリングを行うという事業で今1人を配置している。講師の謝礼には、特別支援教育の講師という形で行っているが、特に通常学級における特別支援を必要とする子どものための研修の講師と考えている。

飲

災害派遣で出動した市消防本部



厚生 常任委員会

6月22日に厚生常任委員会を行った。
議案1件、請願1件について審査した。

23年度 一般会計 補正予算

問 旧西山幼稚園・旧高月幼稚園施設利用のことで、建築確認等予算が出ているが、事業の開始予定はどうか。

答 両施設利用については、障害福祉関係、子育て関係ということで、昨年11月に一般公募を行った。旧西山幼稚園は1事業者、太陽の家から応募があり、旧高月幼稚園は2事業者、国分寺福祉会と岡山県自閉症児を育てる会から応募があり、12月に審査をおこなった結果、旧西山幼稚園は太陽の家に、旧高月幼稚園は国分寺福祉会に決定した。両施設とも都市計画区域のため開発と建築確認の用途変更が必要であることから補正予算を計上した。利用の開始時期は、太陽の家については改修工



旧西山幼稚園

事と予定しているため、24年1月1日の予定である。国分寺福祉会による放課後児童クラブの運営は、県の審査を必要とするため、11月頃の予定である。

問 以前、空き施設の利用について、どこに使ってもらっても良いが、費用については、負担してもらいたいと、要望した。今後どういった費用が必要になるのか。

答 旧西山幼稚園は、障害者自立支援の補助金を利用して、太陽の家が改修費用を負担する。旧高月幼稚園は施設をそのまま利用する。今後補正は必要ないと考えている。

問 国分寺の児童クラブは、小学校からどうやって通っているのか。利用人数は何人か。

答 山陽団地の児童は大



部分が徒歩で、障害等見守りが必要な児童は、先生が迎えに行つて連れてくる。クラブ周辺地域の児童は、山陽小学校から帰つてそれぞれ個々に来ている。国分寺のびのびクラブの登録人数は36人で、昨年の利用児童数は1日平均28人である。

問 各種検診の受診率はどうか。

答 肝炎ウイルス検診は今年度からである。女性がんの節目検診の受診率が約24%であり、大腸がん検診は、約24%を計画している。

問 受診率を上げる努力のため、広報紙の内容に工夫をすべきではないか。

画である。

問 車の購入により訪問は1台で全市内を担当するののか。

答 母子自立支援員、家庭児童相談員、職員の3人が虐待防止に携わっている。対象地域は赤磐市全域を考えているが、定期的にということではなく、学校、関係施設、家庭に出向いていく。近年虐待の新規相談が増加しており、緊急時48時間以内に対応するということが増車をお願いした。

問 虐待の件数が最近増加しているとのことだが、虐待防止の実態と取り組みについて、資料を委員会に提出してもらいたい。

答 新規相談件数は21年度26件、22年度41件で増加している。資料は次回委員会に提出する。

問 安心子ども基金関連事業の子育てネットワーク推進交流事業で、こどもNPOセンターから子育て支援の情報誌「ふぁみりんく」を発行しているが、補助金が切れるので困っているとの声を聞いている。24年度以降の予定は。

答 「ふぁみりんく」については平成21年度3月号から発行をはじめ昨年一年間で6回発行した。今年度当初予算は242万円である。23年度安心子ども基金の新規事業とするため従来の「ふぁみりんく」の発行を含めたネットワーク事業として今回補正を計上した。子育て中の人を対象としたイベントの開催、いろいろな団体を対象とした学習会、研修会を開催する計画である。24年度以降については未定である。

画である。24年度以降については未定である。

産業建設 常任委員会

6月20日に産業建設常任委員会を行った。
議案3件、継続審査の請願1件について審査した。

字の区域及び 名称の変更

問 住居表示に小字が無いのに、ほ場にだけ小字を付けるのはなぜか。地元の意見はどうか。

答 地元の意向で、小字を残した方がいいということになった。

23年度 一般会計 補正予算

問 鳥獣被害防止対策協議会を、今年度3回開くことで予算取りをしているが、具体的な内容はどうか。

委員会です早い開催を望む意見が有る中、スピード感を持った対応ができていないように思うが、どのように考えているのか。



鳥獣被害防止設備

答 前回のセミナーは赤坂で開催されたが、今年も計画しているなら、吉井や熊山でも開催して欲しい。また、協議会も山陽だけでなく、場所を変えてもいいと思う。形式的にやるのではなく、現場の生の声を聴けるようなやり方にすべきではないか。

答 第1回目は立ち上げの会議とし、現状などの話をしたい。第2回目は、今年度は啓蒙やPRに力を入れたいと思っているため、そのために何を考えるか考える会議にしたい。第3回目は締めくくりとして、成果など意見を聞きたいと考えている。委員会の言うとおり、早く取り組んでいかなければならないと考えている。今しばらく待つてほしい。

今回の協議会は、今までのように執行部の方からではなく、議会や各団体の代表者から、どういう形にしたら有害鳥獣被害を減らす事業がしていただけるのか、また地域の中でどういう協力を

ができるかなど、さまざまなものを含めた形で進めたい。参加者から様々な意見、アイデアを積極的に出してもらい、それを次の予算や全体としての方向性に、出していければと考えている。

問 公園整備で桜が丘の東地区整備基金を取り崩しているが、残りはどのくらい有るのか。

答 14号児童公園についての基金は、この107万4000円でゼロとなる。

23年度 水道事業会計 補正予算

問 2トンの給水タンク1基の購入について、積載して使用できるトラックはどこに有り、断水での対応はすぐにできるのか。

当初予算を組んで計画的にやるならわかるが、緊急性が有って要求する補正予算で、あげるのはおかしいのではないか。一人当たり3ℓを配布

して600人に対応できるとの事だが、ポリタンクを購入し、軽自動車に配布した方が効率的ではないか。2トンの水を汲むのに何分かかかるか、汲むバルブが有るのか。

また、特殊なタンクのようなのだが、見積もりがとれるのか、価格は幾らか。特殊な物件でほぼ受注生産なのだから、もっと安くしてもらってもいいのでは。

答 本庁の駐車場に停めてある積載量2トンのトラックを使用し、タンクの自重が210kg有るため、可能な重量いっぱいまで、積載して給水に当たりたい。基本的には、対応はすぐにできる。タンクは、熊山水道資材庫に保管する。

東日本大震災の事もあり、備え



購入予定の給水タンク

ることにした。消火栓では1分間に1トン以上の物が有り、吉井には1分間に500ℓ以上出る装置を用意している。各支所各場所にも設置の計画を練っている。

このメーカーが調べたところ、タンクは1社のみを受注生産で、見積もりを取り予算計上した。タンクの本体価格は184万円で、消費税分を安くしてくれるよう話をしている。実際の発注は、予算内で収まるようにしたい。

一般質問

市の考えを問う



12人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

問

市民バスの運行は
今後どのようなようにするのか

答

23・24年度の2カ年で
大幅に見直す



北川勝義議員

問 前回一般質問の実行性で①介護保険料の納付②教育環境整備審議会の最終答申による実施計画の進捗③産業集積地の環境整備④ごみ施設の進捗と最終処分場⑤入札で市内業者の優先はどうか。

答 ①4人が未納②8月末までに基本方針・実施計画を策定③地元対策委員会の排水路改修要望に対応④5月に津崎地区地権者と用地買収契約を締結、最終処分場は石蓮寺を候補地とした⑤可能な限り市内業者を優先する。

問 備作高校跡地利用は。

答 県の基本方針で無償譲渡は難しい状況。地域振興となる企業誘致を含め調査研究する。

問 赤磐市民病院のあり方検討委員会から答申書が出て市民病院を建替えて在宅医療支援診療所と

するとあるが、どのように進めていくのか。

答 あり方検討委員会の答申は市民病院の入院業務を廃止し診療所として外来診療や訪問診療を行う在宅支援診療所とする内容である。施設の建替え事業が県の地域医療再生計画の対象事業となるよう要望している。

問 市民バスの今後の運行は。デマンドタクシーは考えるのか。

答 市民バスは23・24年度の2カ年をかけ大幅な見直しを行う。地域の代表や利用者等の意見交換の場を設け今年度末に調査報告書をまとめ地域公共交通会議に諮りながら方向性を出す。デマンド交通の導入も視



運行中の市民バス(吉井地内)

野に入れる。

問 滝山川、砂川、吉井川の改修を早期実現し安心して暮らせる防災計画に見直すべきではないか。

答 滝山川、砂川などの河川改修と特に吉井川暫定堤防の完成高への改修を引き続き国・県に要望する。地域防災計画は初動体制の見直しや大規模災害の対応について十分検討する。

表紙のひとこと
収穫を待つピオーネ

強い日差しが夏の訪れを感じさせる7月初旬から、ピオーネの出荷が始まりました。今年は春先の雨で生育が心配されましたが、梅雨明けが例年より早く、真夏の日差しを浴びて糖度も上昇しており、味も例年以上の出来具合といわれています。“黒い真珠”と言われるピオーネを、皆様もどうぞ御賞味ください。

問 地域防災対策は住民に十分周知されているか

答 日ごろから安全対策の情報を提供している



金谷文則議員

機に、もっと実効性のあ
る防災対策を立てるべき
ではないか。ハザード
マップにより、1年に1
回くらい市民全体での訓
練をしてはどうか。

問 赤磐市地域防災対策は十分な物で、住民に十分周知されているか。

各地区からの、防災危険個所の改善要望に対する達成率はどうか。また、ホームページに洪水や地震のハザードマップなどを掲載し、情報提供しているとの事であるが、お年寄りなど、災害弱者には分かりづらい。この程度の対策では不十分で、緊急時には通用しないと思う。東日本大震災を契

策は万全か。安全で安心な保育園が必要だ。また、「公立保育園再編検討委員会」が設置されるとの事だが、形式だけの物にならないようにして欲しい。

問 国の耐震改修の対象になっていない。委員会では、関係地域の意見を聞きながら、方向性を考える。

答 交通安全について、なぜワーストを脱却できないか。市役所をはじめ、各地区へ違反数のボードを設置してはどうか。

問 「一人ひとりが交通マナーを守る」意識が徹底できていない。何か、考える必要が有る。

答 「一人ひとりが交通マナーを守る」意識が徹底できていない。何か、考える必要が有る。

問 旧赤坂地区には、築50年を超す保育園が有る。耐震対



石相保育園

問 市民病院の入院業務を廃止して、診療所にするのか

答 充実した診療所に



森川勸治議員

な事項について調査・審議・答申する委員会である。22年度は2回開催しており、11月には公立病院改革プランの概要について説明し、意見を聞いた。

問 地域審議会の設置目的は何か。地域審議会への説明はいつして、理解は得られたのか。

答 地域審議会は、合併によって地域住民の意見が市政に反映されにくくなる懸念を払拭するため設置されたものである。23年度の地域審議会には、診療所の充実に向け諮問したい。

問 市民病院あり方検討委員会について、各委員から自由闊達な意見、あらゆる角度から検討されたと自負されるか。

答 市長の諮問に応じて市病院事業に関する重要

問 合併協定書は、病院は新市に引き継ぐとなっており、尊重すべきと思うがどうか。

答 合併協定書は尊重されるものと理解しているが、状況の変化に応じては変更せざるを得ない。

問 病院運営委員会の設置目的・存在意義と22年度以降の会議の開催状況および結論は。

答 市長の諮問に応じて市病院事業に関する重要



赤磐市民病院

答 方向性について、真摯に検討され、適正に検討した。

問 市長選挙において井上候補は、熊山病院は建て替えると公約したと聞いているがどうか。

答 「自治体病院は地域の人々の命をつなぐ医療機関であるため、経営改善を考え、建て替え、移転も検討する。」が選挙時のマニフェストだ。

問 市長の言動を見ると、とても市民に主権があると思えない。主権は市民か市長か。

答 市民の負託を受けて4年間、市政を預かっていく。市民に十分説明し、充実した診療所にしていく。

問 空き地の草刈りについて

答 土地所有者を調査し 指導通知をしている



川手辰夫議員

環境美化は第6条で土地所有者の義務とされている。しかし長期間にわたって義務を果たさない悪質な土地所有者も現実には多くいる。その土地所有者に対して同条例9条に基づく指導勧告、また10条に基づく措置命令を、なぜしないのか。草刈りの要請だけでは草刈りの実効性はあがらないのでは。

問 空き地の草刈りをしていない悪質な土地所有者に対する対策が町内会から再三求められているが、全く進展がない。行政としての対応が一向に示されない。空き地のまま放置されている結果、美観を損なっているのはもちろんのこと、安全上の危険も現実起きています。現行の環境美化条例において、空き地の草刈り等

答 空き地の草刈り処理については、市環境美化条例および市火災予防条例に基づき、土地所有者を調査し、適切な宅地管理を行うよう指導通知文を作成し、改善通知をしている。市環境美化条例は、空き缶などのゴミや飼い犬等の糞尿といった廃棄物の適正



空き地の現状

な処理を前提としており、空き地の草刈りを直接の目的としたものではないが、土地の管理が不十分であると雑草や樹木が生い茂るなどして、不法投棄の温床になる恐れもあり、町内会長からの要望に基づき土地所有者に草刈りをお願いしている。他の市町村の条例等も十分検討するが法律的に可能かを十分協議しながら、他人の土地の所有権を侵すことになるので、条例を作ることはできても裁判で負ける可能性が高いので条例の制定はなかなか難しいが、指導通知の充実を図る。

問 災害訓練を通し、地域との絆を深めていくべきでは

答 緊急時の対応ができる仕組みをつくる



松田 勲議員

問 私も福島へ行き、想像を絶する光景に言葉が出ず、想像していたよりもはるかにひどい現実を突きつけられた。大変な状況でありながら、震災発生当初からこれまでの経過と対策を事細かに教えていただく中で、自治会と住民、行政との関係、信頼の大切さを改めて痛感した。

答 私も福島へ行き、想像を絶する光景に言葉が出ず、想像していたよりもはるかにひどい現実を突きつけられた。大変な状況でありながら、震災発生当初からこれまでの経過と対策を事細かに教えていただく中で、自治会と住民、行政との関係、信頼の大切さを改めて痛感した。

問 登校中の小学生の列に車が突っ込み、児童が亡くなられた事故があった。赤磐市内の通学路は大丈夫か。



沢原の交差点

答 桜が丘東2丁目と4丁目の交差点は、道路面の啓発表示等を工夫していく。沢原の信号機を設置するためには、小野田川側に児童の待機場所を確保することが条件である。本年度、県が小野田川に張り出し工事を実施する。この工事が完成すれば信号機設置に向けて大きく前進するので、引き続き早期設置に向けて強く要望していく。山陽北小学校の交差点改良については、小学校の夏休み中に行う予定である。

問

スピード感をもって対応 釣井12号線改良を

答

有利な補助事業で対応 国・県に強く要望



行本恭庸議員

問 主要県道岡山・赤穂線のバイパスの第1段階として、市道釣井12号線の改良を望む。延長も僅か220mほどである。

熊山工業団地への大型車は制限されており、徳富・小瀬木地内を通り松木交差点を右折し熊山橋方面に走り、工業団地へと進まなければならない。要

答 市道改良すれば大型車は集落内を通過することなく、工業団地に進入することができ非常によいことと思う。ただ、橋梁部分の改良は多額な工事費が必要である。小野田川右岸には排水ポンプ車の車庫、高速道路の橋脚、樋門などがある。工法や関係方面との調整の難易度も高くなり、慎重に検討する必要がある。国・県にもこの道路状況を十分説明し有利な補助事業でできないかなどを含めて強く要望していく。

問 現在、広域農免道が奥吉原地内に新設している。今年度からトンネル工事に着工する予定であり、26年開通予定である。現在では、備前方面から

望箇所の改良を強く国・県にスピード感を持って早期交渉を要望する。

答 和気からの広域農免道の開通後の予想交通量は日量2000台余りだ。松木交差点への交通集中を避けるという意味からも、橋を耐震補強することは必要だと思っ



釣井12号線

岡山方面に行くには国道374号線より和気橋を渡り、吉原から徳富地内を通過する県道岡山・赤穂線を通行しているが、広域農免道が開通すると、工業団地前を通過する車両が増加するのは必定だと思う。要望している箇所が早急に着手できるように重ねてお願いする。

答 国・県に對しても協議していく。

問 東日本大震災を教訓に、市として防災対策の強化をどう考えているのか。具体的に市民にわかりやすい取り組みを。ご近所防災助け合いネットワークの構築、住宅の耐震化補強工事等の促進、家具等の転倒防止策への補助制度の創設、原発か

問

赤磐市の防災対策の一層の強化を

答

国や県の防災計画の見直し内容で判断する



福木京子議員

問 市内の建設業者などを

答 国・県の防災計画の見直し内容をみて判断していく。新しい消防庁舎を総合的な防災拠点として活用していく。市民には防災についての冊子を配布している。大震災を踏まえ、初動体制の見直しや大規模災害訓練が必要だ。ご近所助け合いネットワークは重要である。耐震補強工事の補助など前向きに検討したい。原発は国の方針の中で他のエネルギーへの転換が図られることは良いことだ。



要介護者のリフォーム改修

により住宅改修や修繕などを行った場合、経費の一部を補助する住宅リフォーム補助事業が県内にも広がっている。真庭市、津山市、美作市、今年4月から井原市もスタートさせた。地域の活性化にもなり、大きな経済効果も生む。ぜひ赤磐市も創設してはどうか。

答 市では、木造住宅の耐震改修補助金、要介護者や障害者のためのリフォーム支援を行っている。今後、地場産業の育成、地場職人の人々の元気、活性化が期待できるので検討していく。

問 赤坂地域の下水道の計画は

答 合併浄化槽を推進する



原田素代議員

生じることになったのか。もっと早い時期に見直し、撤退などの判断ができなかったのか。

慎重に予測を立て事業に取り組むべきであったと反省している。

問 監査委員は住民からの監査請求に対して、4件とも却下している。その主な理由は、「監査請求期限切れ」である。しかし判例には、「知り得た時点から請求期限が発生する」とある。また、

監査委員は市長から事務事業について監査要求があれば、監査せねばならない（自治法199条第6項）とあるが、どう考えているのか。

答 最高裁の判例に従い却下された。また、旧吉井町で適正執行されたものと判断している。監査は考えていない。



和気・赤磐共同コンポストセンター

問 調べた結果、「怠る事実が存続する限り、その是正を申し立て得るもので、期間制限に服さない」とある。市長の権限がある以上、市長として適切な市政運営を行う姿勢を示していただきたい。

答 後世の批判に耐えられる仕事をしていく。

問 赤坂地域は合併から7年を経ても公共下水道についての計画が明らかにされていない。15年もまだ先のことになるのなら、40万円あまりの補助金が出る合併浄化槽を進めるべきだ。

答 市としても衛生的で環境負荷の少ない合併浄化槽の推進をしていく。

問 被災者支援システムの導入は

答 是非とも、使うような方法で検討したい



治徳義明議員

ため池の安全対策

問 東日本大震災で、福島県の農業用アースダムである藤沼ダムが決壊して、大きな被害が出ている。赤磐市にもアースダムや構造が同じである多くのため池がある。市民の安心・安全のため「ため池のハザードマップ」を作る必要があるのではないか。

答 赤磐市には、ため池が590カ所程度ある。今後の検討課題とする。

豪雨による 水害対策

問 気候変動により、集中豪雨やゲリラ豪雨が増加傾向にあるが対策は。

答 地域防災計画に基づき対応している。

問 こぶ川と砂川の合流エリアの水害対策は。

答 早急に着手したいと考え、県に要望している。

不育症の助成制度

問 子どもが欲しくてもできない不妊症や不育症で悩む人々は、精神的にも経済的にも大きな負担があり、特に経済的な理由で諦めるケースが多い。不妊症には、県にも赤磐市にも助成制度等があるが不育症にはない。少子化対策・子育て支援の一環として、そして何よりも新しい命を守るために助成制度を行うべきと考えるが。

答 前向きに検討する。



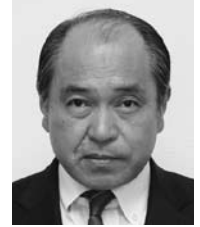
改修中のため池

学校の統廃合について どのように考えるか

問

答

総合的な視野に立ち 検討を進めている



山下浩史議員

問 ①防災対策について
災害時に備えての訓練
を十分に行ってほしい。
また、地域に詳しい地元
業者との防災協定を結ぶ
よう努力してほしい。

②教育環境について
耐震工事の進捗状況、
教育機会の平等性、学校
の統廃合問題について。

③交通問題について
県下ワーストワン、非

答 ①初動体制の見直し
を十分に考える。非常時
に職員を始め、住民がパ
ニックになるので、冷静
に対応できるよう訓練を
する必要があり、実施を
していきたいと考えてい
る。また、地域に詳しい
地元業者との防災協定
は、必要なことでありよ
りよい環境で協定が結ば
れるよう努力する。

②耐震補強は平成26年度
には、全て完了する予定。
子ども達が平等に学べる
よう子どもを取り巻く教

常に不名誉な記録。今後
の取り組み方について。

④赤磐市に定住希望のあ
る人への助成金について
太陽光発電システム、
新設、増改築、岡山県産
材の使用、市内建築業
者、製材所を使用した場
合等、これらについて答
えよ。

育環境の整備に取り組ん
でいる。統廃合に係る教
育環境整備については、
現在策定中の基本方針と
実施計画に基づき推進す
るが、学校は子ども達の
学舎であるとともに地域
の公共施設であり、総合
的な視野で検討を進めて
いる。

③警察とも連携を図りな
がら今後の啓発に努めて
いきたいと考えている。

④過疎が進み高齢化が進
んでいる地域に集落を支
えてもらうような定住の
ケース、その他のケース。
どういうケースなのか区
分けをして方向性を出し
ていきたいと考えている。



水防訓練のようす

問 先の大震災、とりわ
け福島原発事故にともな
い今後のエネルギー政策
をどうするか関心が高
まっている。それぞれの
都市でエネルギーの地産
地消を考える必要がある。
例えばメガソーラーの
話でソフトバンクの社長
が候補地を募集している

問

メガソーラー誘致等 エネルギーの地産地消を

答

大きなメリットがあり 促進していきたい



樫野志郎議員

答 エネルギーの地産地
消は、地域で手に入るエ
ネルギーを地域で使う取
り組みである。風力、太
陽光などの自然エネル
ギーやバイオマスの活用
が考えられる。日本全体
のエネルギー政策を考え
る中で、今後取り組める
ものがあれば取り組んで
いきたい。メガソーラー
についても岡山県が未活
用の県有地などの候補地
を選定し、電力事業
者や太陽光パネル
メーカーに進出を働
きかけている。

赤磐市においても
現在適地を選定して
おり固定資産税の増
収、雇用の促進など
メリットの大きなも
のがあると思われる。
促進していきたい。

答 我々もいくつかの候
補地を検討している。
津崎の用地の有効活用
も一つのアイデアだと
思う。消防署の奥の県有
地はどうかと県の関係者
と話をしたこともある
が、ごみ焼却場施設のり
サイクルをする場所の近
くで電気の再生エネル
ギーの生産ができれば、
環境教育ということでは
面白いアイデアだろう
と思っており、また検討
したい。

問 メガソーラーの適地
の候補地として例えば、
これから作る津崎のごみ
焼却場のままとった空き
地の有効利用なども考え
られるのではないか。



メガソーラー（広島県福山市）

問

**市民病院の
無床化方針の取り消しを**

答

**医療水準が向上した
よい施設を造っていききたい**



川澄章子議員

問 熊山地区の区長や自治連合会からの陳情が出されているが、新聞報道によってのみ知らされる地域住民の怒りも多い。市民への説明会は考えているか。

またこれらの声を無視してあくまで今の方針を進めるつもりなのか。自治体病院としてベッドを残してほしいという、市民のこの願いはどうにもできないのか。

答 陳情書の内容は十分理解している。現在、県に再生計画を出しているが承認されたら説明会を設ける。

市内のベッド数を維持しながら無床の診療所として外来を行う。市全体としての医療水準を引き上げて、高い医療サービスを提供できるよう充実に図っていききたい。

**いきいき交流センターの使用は公平
になっっているか**

問 今年度から公民館やいきいきセンターの登録団体から、冷暖房費だけを徴収となったが、一般市民との使用方法に格差があり過ぎないか。市民が元気で長生きできるようにと生涯教育の名のもとに、市民の活動

に行政が支援していると思う。10人集まるか否かでさまざまな活動が制限され、消滅していくことはあってはならない。

- ①一般市民が使いやすいよう安価に抑えて、市内、市外料金の設定を。
- ②ホールの開放日



桜が丘いきいき交流センターの大ホール

を増やす。
③登録人数を5人以上に
ならないか。

答 ①公民館などと異なる広い利用目的で活用できる施設で市内外に向けて開放されている。②考えていない。③緩和するとさらに団体数が増え、一般利用者が利用しにくい。

運営委員会で検討をお願いしたい。

議会を傍聴しませんか!!

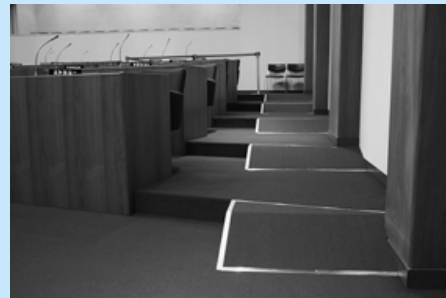
本会議、各委員会は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください（本会議：定員30人、各委員会：定員5人）（※ルールを守った傍聴をお願いします）

また、休会中の委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。

本会議については、インターネット上で配信を行っております。また、市役所本庁舎1階市民コーナーにもモニターを設置してありますので、どうぞお気軽にご覧ください。



議会配信の様子



車イス用の通路（本会議場）

ご自宅のパソコン等を使ってインターネットによる本会議配信をご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.akaiwa.lg.jp/gikai/gikai-live.html>

ぜひご利用ください。



議案審議

4月臨時会を4月25日、26日に開催した。
承認案件4件を承認し、議案2件を可決した。
また、人事案件2件を審議した。

過疎地域の公示に伴う固定資産税の特例に関する条例の改正

問 条文中の「ソフトウェア業」を「情報通信技術利用事業」に改めるとのことだが、ソフトウェア業とは具体的にどのようなものなのか。

答 顧客の委託により電子計算機のプログラム作成などを行う業種であり、赤磐市において対象になる事業者は無い。

国民健康保険税条例の改正

問 これは国保税の引き上げにもつながるわけだが、赤磐市ではどのくらい金額的に引き上げられるのか。

答 今回の改正は、国民健康保険の基礎課税限度額の上限基準を、医療費の給付費分で1万円、後期高齢者支援分で1万円、介護納付金で2万円それぞれ引き上げるものである。まだ具体的な数字は出てこないが、22年度の賦課の内容で単純に推計すると、医療費給付分で約100世帯、後期高齢者分で約60世帯、介護納付金で約70〜80世帯に影響が出るのではないかと思う。

22年度国民健康保険特別会計補正予算

問 システム改修事業の補正ということだが、国保中央会のシステム開発の遅れで市が負担を強いられる状況になっていると思う。国からの支援などはあるのか。

答 国保連合会および国からの交付金で経費の一部は負担してもらえるとのことである。また、市としてもシステムを導入することできさまざまなサービスにつなげていきたいと考えているので、システムの導入を強いられているというわけではない。

土地の取得

問 ごみ処理施設用地として3万4504㎡の土地を取得することについて、最初やる際には焼却場、リサイクル場、最終処分場3つをセットでやるということとこれだけの面積が必要ということとだったと思う。その後の交渉の中で、焼却施設およびリサイクル施設は良いが、最終処分場は受け入れないということになったため、残る土地がある。残った用地についてどのような活用方法を考えているのか説明してほしい。また、現在の時点で、リサイクル場および焼却場の面積がどのくらいになるかわせて説明してほしい。

答 最初、最終処分場は約1ha程度を考えていたが、その部分を公園や多目的広場、緑地、駐車場として使うことを考えている。
現在、概略ではあるが、焼却リサイクル施設用地等として0・8ha、公園と多目的広場として0・4ha、雨水の調整池として0・2ha、駐車場および場内の舗装部分として0・9ha、緑地として0・8ha、進入路等の道路用地として0・4haを考えており、合計で3・5haを使うことになっている。ただ、これは仮定の話であり、活用方法については市民や地元の人達と十分協議して、今後詳細については詰めていきたいと思っている。



次のとおり同意しました。

監査委員

行本 恭庸 (可真上)

【任期】

平成23年4月26日〜
平成25年4月16日

固定資産評価員

近藤 常彦 (多賀)

市議会をご自宅で！

本会議のインターネット配信が始まりました

赤磐市議会では、議会へ傍聴にお越しになれない市民の皆さんも、ご自宅等で本会議の映像をご覧いただけるように、インターネットによる議会配信の運用を平成23年6月定例会より開始しました。

インターネット配信では、本会議のライブ配信および録画配信をご覧いただけます。



本会議配信を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議配信」→「議会配信をみる」と開いていく。

● 本会議配信のようす ●

また、本会議の会議録もインターネットで閲覧、検索ができます。これにより、図書館でしか読むことができなかった会議録も、ご自宅のパソコン等で自由に閲覧することができ、大変便利です。

本会議配信とあわせてどうぞご利用ください。



9月定例会のお知らせ

次回9月定例会は、9月1日から9月27日まで27日間の会期で開催予定です。

多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

会議録を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「会議録検索」と開いていく。

※インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月第2回定例会以降のものとなります。
※市内の図書館(中央、赤坂、熊山、吉井)においては今までどおり冊子の会議録を閲覧できます。

編集後記

6月議会が終わり、梅雨も明け猛暑の夏がやってきました。今年には特に高齢者の熱中症が心配されます。市民の皆様も十分にご注意ください。

一層わかりやすい市議会だよりを発行し、多くの人に読んでいただけるようにと思いい、我々編集委員も暑い中編集いたしました。今後も市政の動きを皆様にお届けできるよう委員一同がんばってまいりますので、よろしくお祈りいたします。

議会広報編集特別委員

委員長	金谷 文則
副委員長	川手 辰夫
委員	海野 雅之
委員	川澄 章子
委員	北川 勝義
委員	原田 素代
委員	治徳 義明